

アセスメント・プラン

目的

DPを達成するための体制をつくり実行すること。DPの達成状況を把握、検討し、達成に近づける。またDP・CP・APを継続的に検討する。方法にあたっては以下の2点にポイントをおく。

- ①学習成果・教育効果を可視化し対応する。
- ②成績評価を厳格（妥当性・透明性・客観性・公正性）に行う。

図 アセスメント・プラン実施体制

レベル	役割	担当部署（責任者）	成果指標（KPI）	検討資料	報告書
大学	活動状況の把握と対処	教務入試委員会 （理事長兼学長）		・学位プログラム DPLレビュー	
学位プログラム	DPの達成状況の把握と対処	教授会 学部教務部会 （学部長・副部会長）	・卒業時DPアンケート ・留年、退学 ・進路状況 ・試験合格率	・授業実施評価レポート ・GPA支援状況 ・成績評価ガイドライン	学位プログラムDPレビュー ・状況説明 ・前回対応結果 ・次回対応プラン
科目	各科目の状況把握と対処	各コース等・基盤教育センター （コース代表・センター長・教務部会員）	・成績評価アンケート	・Cマップ、ツリー ・シラバス ・受講状況 ・科目成績分布	授業実施評価レポート ・状況説明 ・前回対応結果 ・次回対応プラン